

かなざわ 市議会だより

kanazawa city council

No.291

令和3年(2021年)
5月1日発行



写真：市立病院で行われた医療従事者対象の新型コロナウイルスワクチン接種の様子

現在金沢市では、国からの方針に基づいて新型コロナウイルスワクチン接種への体制整備を進めています。接種開始時期や接種会場等の詳細が決定しましたら、市のホームページや新聞広報等で随時情報を提供するとともに、接種対象となる方に個別通知でご案内する予定です。

その他、新型コロナウイルス感染症関連情報については、

[金沢市役所](#) [新型コロナ](#) [検索](#)

または、こちらをご覧ください。⇒



発行／金沢市議会

編集／議会広報委員会

〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号

TEL (076) 220-2392 FAX (076) 260-7190

〈ホームページ〉

<https://www4.city.kanazawa.lg.jp/41004/index.html>

目次

- ・ 2月緊急議会及び3月定例会議の概要等
..... P.2～P.3
- ・ 本会議の発言から P.4～P.19
- ・ 常任委員会連合審査会 P.20～P.23
- ・ 常任委員会の要望事項 P.24～P.25
- ・ 常任委員会の活動状況 P.26
- ・ 委員会の構成 P.27
- ・ 審議結果、議員別賛否一覧… P.28～P.31
- ・ 議会日誌、6月定例会議の日程 P.32

令和2年度 金沢市議会 2月緊急議会及び3月定例会議会の概要

令和2年度金沢市議会2月緊急議会が2月15日の1日間、3月定例会議会が3月1日から19日までの19日間、開催されました。

◇2月15日 議案上程・提案理由説明・質疑・委員会審査・討論・採決

市長から新型コロナウイルスワクチン接種や飲食業及び宿泊業への支援に係る総額18億9,000万円の補正予算の議案が提案され、提案理由の説明が行われた後、7人の議員が質疑を行いました。また、総務・経済環境・市民福祉の各常任委員会が開催され、議案の審査が行われました。その後、討論・採決が行われ、議案は全会一致をもって原案のとおり可決されました。

◇3月1日 議案上程・提案理由説明

市長から、令和3年度予算案や「金沢未来のまち創造館条例の制定」などが提案され、市政に対する所信と提案理由の説明が行われました。

◇3月9日～11日 質疑・一般質問

9日には、6人の議員が代表質問を行いました。10日・11日には、14人の議員が質疑や一般質問を行いました。

◇3月12日 委員会審査

令和2年度補正予算関係議案等の審査を行うため、各常任委員会が開催されました。

◇3月15日 補正関係討論・採決、委員会審査

令和2年度補正予算関係議案の採決が行われ、全会一致または賛成多数をもって、いずれも原案のとおり可決されました。

また、令和3年度予算関係議案の審査を行うため、各常任委員会が開催されました。

◇3月17日 常任委員会連合審査会

5常任委員会による連合審査会が開催され、令

和3年度予算関係議案の質疑が行われました。

◇3月18日 委員会審査(総括質疑・討論・採決)

令和3年度予算関係議案等の審査を行うため、各常任委員会が開催されました。

◇3月19日 討論・採決

令和3年度予算関係議案に関する各常任委員会の委員長報告の後、討論・採決が行われ、この日追加提案された人事案件を含め、市長提出の議案各件は、全会一致または賛成多数をもって、いずれも原案のとおり可決されました。議員提出の議会議案9件は、7件が可決、2件が否決され、請願3件、陳情2件は、いずれも不採択となりました。

【委員会の改組・特別委員会の設置】

各常任委員会と議会運営委員会の改組が行われるとともに、3特別委員会が設置されました。(※委員会構成は、27ページをご覧ください。)

【議長・副議長の選出】

野本正人議長・源野和清副議長の辞職に伴い、議長選挙・副議長選挙が行われ、新たに久保洋子議長・山本由起子副議長が選出されました。

◎議長選挙の結果

久保 洋子 議員	31票	森尾 嘉昭 議員	3票
高岩 勝人 議員	1票	下沢 広伸 議員	1票
無効	2票		

◎副議長選挙の結果

山本由起子議員	31票	広田 美代 議員	3票
坂本 泰広 議員	2票	新谷 博範 議員	1票
小林 誠 議員	1票		

市長の施政方針(要旨)

◇活力とにぎわいを生み出すまちづくり

五感にごちそう金沢宿泊キャンペーンの実施により観光産業の回復に努めるほか、価値創造拠点施設の名称を「金沢未来のまち創造館」とし、本年8月の開館に向け、準備に万全を期す。

◇個性を磨き高める魅力づくり

金沢マラソンは、でき得る限りの安全対策を取った上で準備を進め、オンライン大会については、ハーフランやファミリーラン等を新設するなど、魅力的な大会となるよう工夫していく。

◇次代を担う子どもを育む社会づくり

不妊治療に対する補助制度を拡充し、多胎妊婦に対する訪問指導や健康診査を充実するほか、小

中学校ではICT版金沢型学習スタイルを全校で実践していく。

◇誰もが安全で安心できる暮らしづくり

新型コロナウイルス感染症対策では、保健所及び市立病院の体制強化やワクチン接種体制を確保する。また、脱炭素社会に向けて、住宅用再生可能エネルギー設備等の導入や事業者用電気自動車の購入に対する助成制度を創設する。

◇市民と共に進める協働の絆づくり

高齢化が進み、町会等の担い手不足が深刻化しているまちなか区域において、学生の居住を促し、地域活動等への積極的な参加を後押しするための奨励金制度を創設する。

令和3年度 金沢市予算概要

	令和3年度	令和2年度	増減率
一般会計	1,782億1,000万円	1,741億5,000万円	2.3%
特別会計 ^(※1)	956億7,232万7千円	972億4,240万9千円	△1.6%
企業会計 ^(※2)	604億4,024万円	629億901万1千円	△3.9%
合計	3,343億2,256万7千円	3,343億142万円	0.0%

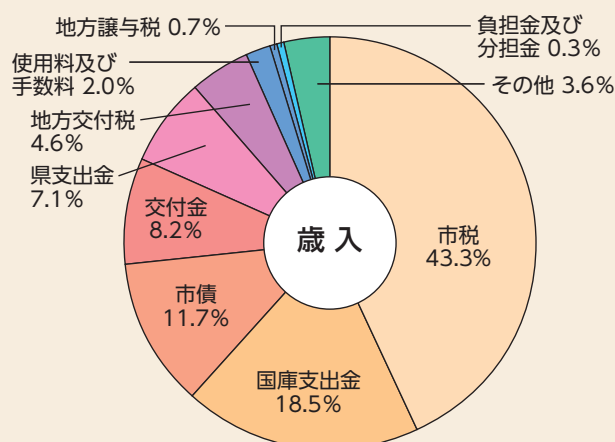
(※1) 国民健康保険費、後期高齢者医療費、介護保険費、市営地方競馬事業費など10会計の合計

(※2) ガス事業、水道事業、病院事業、中央卸売市場事業など8企業会計の合計

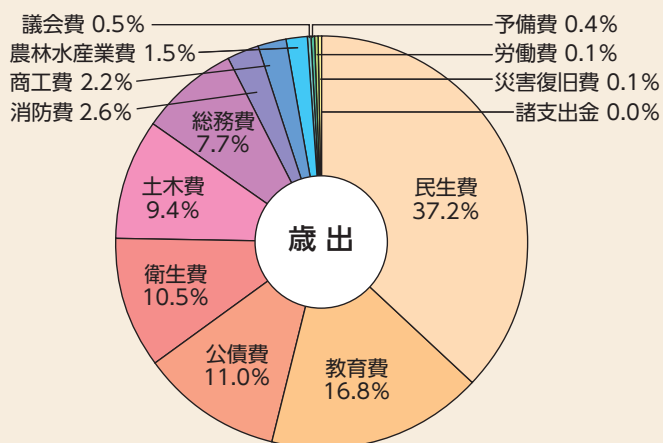
令和3年度当初予算は、誰ひとり取り残さないデジタル戦略都市・金沢の実現や新型コロナウイルス感染症対策の強化をはじめ、活力とにぎわいを生み出すまちづくり、個性を磨き高める魅力づくり、次代を担う子どもを育む社会づくり、誰もが安全で安心できる暮らしづくり、市民と共に進める協働の絆づくり等を重点にして、「未来を育み 持続可能な世界の交流拠点都市をめざす重点戦略予算」として編成されました。

令和3年度一般会計予算 1,782億1,000万円

歳入	市 税	772億4,905万円
	地方譲与税	12億4,700万円
	交付金	148億1,970万円
	地方交付税	82億円
	負担金及び分担金	5億224万8千円
	使用料及び手数料	35億533万円
	国庫支出金	329億1,002万8千円
	県支出金	126億5,215万5千円
	市 債	208億1,450万円
	そ の 他	63億998万9千円



歳出	議 会 費	8億8,534万6千円
	総 務 費	136億4,594万8千円
	民 生 費	662億2,936万2千円
	衛 生 費	186億4,024万3千円
	労 働 費	2億4,039万4千円
	農林水産業費	26億9,001万3千円
	商 工 費	39億8,522万2千円
	土 木 費	167億2,163万5千円
	消 防 費	46億7,485万1千円
	教 育 費	299億4,913万7千円
	災 害 復 旧 費	8,935万7千円
	公 債 費	196億8,734万2千円
	諸 支 出	5,115万円
	予 備 費	7億2,000万円





議長就任あいさつ

(第92代議長 久保 洋子)

初の女性議長就任の重みを受け止めるとともに、多様な意見を適切に市政に反映させ、市民福祉の向上と市勢発展に向けて全力を傾けてまいります。



副議長就任あいさつ

(第125代副議長 山本由起子)

議長を支え、円滑な議会の運営に全力を尽くすとともに、新型コロナウイルス感染症対策やジェンダー平等も進めていきたいと思っております。

◆◆ 本会議の映像について ◆◆ ～ぜひ、生中継や録画映像をご覧ください～

本会議は、テレビやインターネットでも視聴いただけます。

- 「金沢ケーブル」から視聴
 - ・当日は生中継、翌日は録画放送を視聴できます。(デジタル031Ch・金沢コミュニティチャンネル)
- 「金沢市議会ホームページ」から視聴
 - ・インターネットでは、当日の生中継(YouTube)や録画映像を視聴できます。
 - ※録画映像は、本会議終了後おおむね10日以内に配信します。

◆インターネットでの生中継(YouTube)及び録画映像はこちらからご覧になれます。⇒



本会議の 発言から

3月9日(火)、10日(水)、11日(木)にかけて、20人の議員が質疑や一般質問を行いました。

3月9日(火)

- ・福田 太郎 議員 (自民党) P. 5
- ・清水 邦彦 議員 (市議会自民党) P. 6
- ・中西 利雄 議員 (みらい金沢) P. 7
- ・澤飯 英樹 議員 (金沢保守) P. 8
- ・秋島 太 議員 (公明党) P. 9
- ・森尾 嘉昭 議員 (日本共産党) P.10

3月10日(水)

- ・荒木 博文 議員 (自民党) P.11
- ・坂本 泰広 議員 (市議会自民党) P.11
- ・麦田 徹 議員 (みらい金沢) P.12
- ・粟森 慨 議員 (金沢保守) P.12
- ・上原 慶子 議員 (公明党) P.13
- ・大桑 初枝 議員 (日本共産党) P.13
- ・熊野 盛夫 議員 (創生かなざわ) P.14
- ・喜多 浩一 議員 (市議会自民党) P.14

3月11日(木)

- ・小間井 大祐 議員 (自民党) P.15
- ・高 誠 議員 (市議会自民党) P.15
- ・森 一敏 議員 (みらい金沢) P.16
- ・新谷 博範 議員 (金沢保守) P.16
- ・玉野 道 議員 (創生かなざわ) P.17
- ・宮崎 雅人 議員 (自民党) P.17

※掲載している内容は、発言した議員本人が作成した原稿をもとにしています。



自由民主党金沢市議員会

福田 太郎 議員 【代表質問】



新年度予算編成への市長の思い

問 「未来を育み 持続可能な世界の交流拠点都市をめざす 重点戦略予算」と銘打った新年度予算案を見ると、金沢美術工芸大学の移転整備を中心に、コロナ対策、子どもを育む環境の充実やデジタル化の推進、教育施設の再整備など、社会変容に対応したきめ細やかな気配りがされている。予算編成に込めた市長の思いを聞く。

答 新年度予算では、現下の最大の課題である新型コロナウイルス感染症対策に万全を期し、感染防止、地域経済対策の強化を図ることが一番だと考えている。また、デジタル技術を活用した市民サービスの向上をはじめ、子育て施策や地域コミュニティの充実などにしっかりと取り組んでいながら、重点戦略計画を着実に実践していくことが未来を見据えたまちづくりになると考えている。 (市長)

コロナ禍での今後の経済対策

問 国のGoToトラベル事業の一時停止と首都圏などでの緊急事態宣言の発出により、宿泊業や飲食業が極めて厳しい状態に追い込まれている中、本市は2月緊急議会を開き、宿泊業と飲食業を支援する地域経済対策を直ちに予算化するなど迅速に対応したところであり、業界からも感謝の声が上がっている。新年度予算では、宿泊業と飲食業のみならず、旅行代理店や貸切り観光バス会社なども支援する必要があると思うが、どのような対策を講じるのか。

答 石川県内限定で五感にごちそうキャンペーンを行っているが、新たに8万泊を想定した予算を計上しており、旅行者にとっても大きなビジネスチャンスにつながると思っている。観光バス事業者については、首都圏や関西圏を中心に、修学旅行先を金沢、石川に変更する動きが見られるため、本市での宿泊費やバスの借上料を支援する予算も計上している。 (市長)

ワクチン接種について

問 4月からの高齢者へのワクチン接種について、関係機関と遺漏のない対応をお願いしたいが、現在の進捗状況を聞く。

答 ワクチン接種については、ふだんからのかかりつけ医での接種が安心できるのではないかとの思いから、個別接種を中心に考えている。また、駅西福祉健康センターをはじめとした集約接種や、医療機関に足を運ぶことが難しい高齢者施設等に対する巡回接種も行うほか、4市2町での接種も進めていきたい。特設会場を設けて接種する病院約10か所を含め、市内の約200の医療機関での接種に向けて最終的な調整をしていきたい。 (市長)

不動産業への支援について

問 売上げが大きく落ち込んでいる業種に不動産業がある。これまでも事業を営む人に家賃補助といった支援策を実施してきたが、コロナ禍で先々が不安になり、廃業を選択する経営者もおり、ビルオーナーにとっても家賃収入が入ってこない状況が続いている。ビルオーナーへの支援策の検討について聞く。

答 来年度、市内中心部の空き店舗への出店支援を拡充したいと考えている。対象業種に生活関連サービス業を追加したが、今後もなし得る限りの手だてを取っていきたい。また、全国的な状況であることから、先般の持続化給付金のような施策も国に働きかけていきたい。 (市長)

【質問事項】 (一括質問方式)

- 1 令和3年度当初予算について
- 2 コロナ禍での対応について
- 3 伝統工芸の振興について
- 4 ガス・発電事業の譲渡について
- 5 まちづくりについて



金沢市議会自由民主党議員会

清水 邦彦 議員 【代表質問】



新型コロナウイルス感染対策について

問 2月緊急議会の議決を経て、現在の進捗と今後のワクチン接種に向けたスケジュールを聞く。また、これまで市民への感染拡大防止対策の徹底や注意喚起をどのようにしてきており、変異株や第4波には、どのように対応していくのか。

答 まずはかかりつけ医による接種を中心に進めていくが、駅西福祉健康センターをはじめ、特設会場を設けることができる病院に協力してもらいたいと思っている。高齢者施設には、市立病院の医師看護師のチームを組んで巡回接種していく。現在、4市2町で協力して環境を整えるため、関係機関と調整しているところであり、今のところ特設会場を設置する約10か所の病院と、市内全域で約200の医療機関が対応できる意向を示している。また、対象者宛ての接種券にチラシを同封するほか、市の広報やホームページなどの様々な媒体を通じて市民へ告知するとともに、コールセンターも開設する。感染対策の徹底や注意喚起については、感染者への差別をなくすことの啓発をはじめ、講習会や実地支援指導を高齢者施設に行ってきたところであり、手洗いポスターの掲示による対策の周知のほか、接待を伴う飲食店には、啓發文書やガイドラインの配布に加え、地域や業種に限定した一斉検査を実施してきた。変異株や第4波については、これまでと同様に、マスクの着用、手洗い、うがい、3密の回避等の感染防止対策を取ってもらえるよう、問題意識を共有していきたい。（市長）

持続可能な観光振興施策の推進について

問 観光関連事業者の事業継続が危機的状況である。業界規模が縮小してしまえば、需要が回復しても受け皿がなく、経済再生は難しいと考えるが、どうか。

答 昨年春からの新型コロナウイルスの感染拡大や、昨年末からの感染再拡大により、観光関連事業者は大変な影響を受けていると認識している。これまで、その支援策を講じてきているところだが、引き続き、しっかりと取り組んでいく。（市長）

コロナ禍の当初予算編成について

問 令和3年度の当初予算においては、歳入の多くを国の交付税措置と市債発行に依存する厳しい財政環境になっていることから、今後、何をやるのかではなく、何をやめるのかの判断が求められると考えるが、どうか。

答 厳しい財政環境だが、地方財政計画に基づき、実質交付税や国の緊急経済対策に伴う交付金を増額するとともに、計画的な基金の取崩しを行うなど、財源の確保にこれまで以上に工夫を重ねてきた。一方で、教育施設等の再整備の本格化や臨時財政対策債の増などにより、市債発行額は増加するものの、市債依存度は地方財政計画を下回り、実質公債費比率も健全な水準であり、現状として、財政の健全性は保たれている。ただ、国や社会経済の動向も注視しながら、毎年度の中期財政計画の見直しに合わせ、事業の優先順位や公共事業費規模を精査し、中長期を見据えた健全財政運営の中で、何をやめ、延期するのかについても慎重に考えていかなければならないと考えている。（市長）

小学校教科担任制について

問 文部科学省から、令和4年度からの小学校教科担任制の本格導入が発表されたが、本市においてモデル実施している小学校において得られた成果と課題について聞く。

答 個々の教員が教材研究の効率を高めることができたことや、持ち授業時数の軽減により、本務に専念する時間が確保された。児童は、教科の専門性を生かした授業により、学習への興味関心が高まっているとのことであり、特段、課題があるとは聞いていない。（教育長）

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 コロナ禍の当初予算編成について
- 2 持続可能な観光振興施策の推進について
- 3 小学校教科担任制について



みらい金沢

中西 利雄 議員 【代表質問】



本市経済の立て直しについて

問 コロナ禍であるからこそ、地元の経済を地元の人々が回し、その際に創造的な営みである文化により付加価値を加える取組が必要と考えるが、本市経済の立て直しに当たっての考え方について聞く。

答 五感にごちそうキャンペーンでの県民宿泊、商店街支援のための商品券事業での地元の人たちの買い物、飲食店への常連客の来店など、多くの市民がこの1年、地元のありがたさを感じるが多かったと思う。できるだけ現場の声を聞きながら適切に対応していきたい。

(市長)

木の文化都市について

問 「木の文化都市・金沢」の継承と創出に向けては、県内産の木材を使用することが大事であり、年間生産量と使用料などの計算のほか、耐火性が高く、構造的にも強い木材が県内産から生産可能なのかも含めて考える必要があると考えるが、どのように木の文化都市を進めていくのか、その期間も併せて聞く。

答 県内の木材加工業における県産材の使用比率は4割程度であり、また、県産材から耐火性や強度に優れた加工木材も生産されており、将来需要推計に基づき利用を促進することは大切であることから、木材業者など関係団体とも定期的に意見交換していきたい。木のこだわりは、森の涵養も含めて和の再評価につながり、金沢のまちづくりの魅力も強めていくと思っており、期間の定めはないが、長期的な施策になると考えている。

(市長)

デジタル化の推進について

問 本市デジタル戦略では、誰ひとり取り残さないとしているものの、デジタル機器をあまり触りたくない人も存在すると思うが、どのように対応するのか。

答 窓口をなくすわけではなく、丁寧な対応は引き続き必要と考えているが、これを機に勉強したい人もいると思うので、高齢者向け電子申請等の利用講習会などにも取り組んでいきたい。金沢市DX会議に入っている人材育成の専門家の意見も聞きながら、市民のデジタル活用機会拡大に努めたい。

(市長)

記念映画について

問 全日本ろうあ連盟創立70周年記念映画「咲む」の上映会が過日、21世紀美術館で開催され、市長も観賞したとのことだが、率直な感想と障害者との共生社会の実現に向け、市長の姿勢が前向きになったのか聞く。

答 聴覚障害者が積極的にまちづくりに関わっていく様子から、まちづくりの映画という見方もできる。後半に全ての音が消える場面や、主人公が健常者の会話に全くついていけない場面があり、気づかぬうちに自分もしていたかもしれないと学び、多くの人と共に暮らすことができるまちをつかっていきたいという思いを強くした。

(市長)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 令和3年度予算と重点戦略計画について
- 2 各種事業の進捗について
- 3 デジタル化の推進について
- 4 まちづくりについて
- 5 市長の政治姿勢について



金沢保守議員会

澤飯 英樹 議員 【代表質問】



新年度予算編成について

問 一般会計が過去最大の予算規模になった要因を聞く。また、経済の低迷による市税収入不足の中、歳入ではどのような工夫をしたのか。

答 一般会計については、新型コロナウイルス感染症対策、私立保育所等運営費や障害者自立支援給付費などの扶助費の増加、中央小学校の移転・改築、田上校下における新小学校の建設、泉野福祉健康センターの改築といった公共施設の再整備等の本格化などにより過去最大の規模となった。歳入においては、市税収入の大幅な減収を受けたが、地方財政計画に基づく実質交付税の増額や固定資産税の軽減措置分を補填する国の交付金を計上し、併せて新型コロナウイルス感染症対策にかかる臨時交付金等を活用した。 (市長)

災害に強いまちづくりについて

問 東日本大震災から10年が経った。本市に影響を及ぼす可能性がある都市直下型地震の発生予測の状況と予想される被害の規模等を聞く。

答 金沢平野の南東縁に長さ26キロメートルの森本・富樫活断層帯があり、推定の地震規模はマグニチュード7.2程度、発生確率は30年に2～8%である。想定される被害については、死者は1,400～2,600人、負傷者は1万1,000～1万2,000人、避難者数は1か月未満で約19万人、1か月超で約7万人と推測される。正しく恐れるとともに、災害に対応してきた他都市の意見を聞きながら、今でき得る限りの対策をとっていき、そして、このことを想定した訓練をしていくことが必要である。地震だけでなく、大型台風や大雨被害も頻発している。その対策のためにも、地域防災計画を改定するとともに、コミュニティ防災士のさらなる育成と連携強化に努めていく。 (市長)

高齢者の火災被害防止について

問 出火件数と火災による死者数は全国的に減少傾向にあるが、昨年は火災による死者数が増加している。本市においても、過去10年で最も多い8人の方が火災で亡くなっており、そのうち5人が65歳以上の高齢者であった。高齢者の被害防止への取組を聞く。

答 住宅用火災警報器の設置と適正な維持管理は、高齢者の火災被害防止を図る上で不可欠である。地域全体で防火対策に取り組み、来年度は民生委員の協力を得ながら警報器の設置状況調査を行い、さらなる設置促進を図っていくほか、婦人防火クラブや消防団員と連携した防火活動など、高齢者の命を火災から守っていく。 (市長)

第70回金沢百万石まつりの開催について

問 昨年はコロナ禍で中止となった金沢百万石まつりについて、今年は開催の方向だと聞いているが、開催するに当たっての意気込みと新型コロナウイルス感染防止対策を聞く。また、今後の誘客をどのように進めていくのか。

答 市民の祭りを未来へつなげていくことが使命であり、俳優の竹中直人さんによる利家公、女優の栗山千明さんによるお松の方に大きな期待を寄せている。行列の出発会場となる金沢駅周辺での密集対策が課題だが、周辺の施設を借り上げ、密集状態を回避していく。 (村山副市長)

海外からの誘客は時期尚早だが、多くの経済効果があるので、国内では宿泊キャンペーン事業を継続するなど、インターネット等で発信し、今後の誘客につなげていく。 (市長)

【質問事項】 (一括質問方式)

- 1 新年度予算案と主要施策について
- 2 マイナンバーカードについて
- 3 災害に強いまちづくりについて
- 4 第70回金沢百万石まつりについて



公明党金沢市議員会
秋島 太 議員 【代表質問】



ガス・発電事業譲渡について

問 あり方検討委員会の提言を受け、ガス・発電の両事業を一括譲渡するという決断に至った理由を聞く。

答 国の制度改革により、電力・ガスを併せた総合エネルギー市場へと市場の形態が変化したことに加え、人口減少や地球温暖化など、事業を取り巻く環境が大きく変化している。将来にわたり、市民に安全・安心で安定したエネルギー供給を確保するとともに、市民が速やかにエネルギー自由化の恩恵を享受できる環境を創出することが大切だと考え、両事業の一括譲渡を決断した。 (市長)

GIGAスクール構想と教育の充実について

問 国がGIGAスクール構想を前倒しで進めるため、児童・生徒への1人1台の端末を本年度内に支給することになったが、不登校の児童・生徒を含め、支給の準備はできたのか。

答 不登校の児童・生徒も含めた1人1台の学習用端末の整備は、今年度内に完了する。現在、各学校で操作方法の研修等を進めており、新年度から学習用端末を活用した授業を行うこととしている。(教育長)



ICT機器を活用した授業の様子
(出典：文部科学省ホームページ)

防災・減災のまちづくりについて

問 このたび発足となるかなざわコミュニティ防災士ネットワークは、地区の防災力向上のためにどのような役割を担うのか。

答 平成18年度から継続的にかなざわコミュニティ防災士の育成に取り組んでいるが、これからは災害の広域化や大規模化が見込まれ、近隣地域の防災士との連携強化が必要との思いの中から、かなざわコミュニティ防災士ネットワークを立ち上げることにした。これにより、自らが属する地域の自主防災組織と他組織との連携につながることを期待している。 (市長)

大型公共投資について

問 コロナ禍による財政面の厳しさや新しい生活様式が求められることにより、大型公共投資の進め方に変更はあるのか。

答 本市の財政需要を中期財政計画に盛り込み、基金の計画的な積立て等の手だてを講じるなど、財政の健全性に配慮しながら取り組んできたところであり、今後も国の動向や社会経済情勢を注視しながら、常に財政の健全性に意を用いていく。 (市長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 令和3年度予算
- 2 新型コロナウイルス感染症対策
- 3 ガス・発電事業譲渡
- 4 GIGAスクール構想と教育の充実
- 5 防災・減災のまちづくり
- 6 大型公共投資



日本共産党金沢市議員団

森尾 嘉昭 議員 【代表質問】



新型コロナウイルス感染症対策について

問 ワクチン接種は、いつ、どのように行われるのか。また、正確な情報発信をどのように行うのか。さらに、医療機関と高齢者施設などの職員や入院・入所者に対する一斉・定期的なPCR検査を実施する考えはないのか。

答 4月中旬から65歳以上の高齢者への接種を開始し、7月以降に一般の人への接種を開始する見込みである。コールセンターでの問合せ対応やホームページ等で情報発信をしていく。PCR検査については、これまでも医療機関や高齢者施設等で感染が発生した場合、幅広い検査を実施してきており、一斉定期的な検査の実施は考えていない。(市長)

介護保険料の引下げを

問 新年度から始まる3か年間の第8期介護保険事業計画では、基準となる保険料として、月額6,590円が示された。この保険料を1人当たり年間1万円引き下げするのに必要な財源は12億円である。介護保険給付費準備基金を活用すれば可能だが、どうか。

答 基金を取り崩して1年間に限って保険料を引き下げたとしても、次期の保険料の引き上げ額が大きくなるため、今回は保険料を据え置きとする。(市長)



国民健康保険料の引下げを

問 保険料を一世帯当たり、年1万円引き下げるのに必要な財源は、約6億円である。国民健康保険財政調整基金を活用すれば可能だが、どうか。

答 市民生活への影響を配慮し、基金の取り崩し等により、国民健康保険料の引き下げを行うこととしたが、さらなる保険料の引き下げのために基金を活用することは考えていない。(市長)

本市ガス事業・発電事業譲渡方針について

問 本市ガス事業・発電事業について、事業譲渡の優先交渉権者を決定し、北陸電力、東邦瓦斯を中心とする企業に300億円で売却する方向を進めるとしている。100年にわたって市営事業としてきた市民の財産であることから、事業譲渡を一旦中止するよう求めるが、市長の見解を聞く。

答 今後、優先交渉権者の提案概要について、議会への報告やホームページでの掲載のほか、5月には市民や事業者向けに市主催の説明会を開催し、提案のあった料金・サービスの内容等を広く周知していきたい。(市長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 新型コロナ感染対策をめぐって
- 2 本市新年度予算に関して
- 3 金沢市ガス事業・発電事業譲渡方針をめぐって



自由民主党金沢市議員会
荒木 博文 議員



産後ケア事業について

問 産後鬱防止のためにも、全ての母親に産後の心身の変化や子育てに必要な体力づくりなど、その知識や方法を啓発する支援体制の見直しが急務ではないか。



産後ケア事業の様子

答 新年度からケアサービスの利用対象者を産後4か月未満の母子から6か月未満に拡大するとともに、心身の健康を保つことが健全な育児につながることを母親に理解してもらえよう支援と啓発を強化していく。(市長)

公立夜間中学新設について

問 公立夜間中学の設置に対する教育長の見解を聞く。

答 県費負担の教職員の配置や教育課程の編成、指導方法の確立など課題は多い。設置する場合には市外からの通学者も予想されることから、協議会の設置も含め、県市町教育委員会連合会等で協議、研究していきたい。(教育長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 中高年のひきこもり支援について
- 2 公立夜間中学新設について
- 3 第7回金沢マラソンについて
- 4 産後ケア事業について



金沢市議会自由民主党議員会
坂本 泰広 議員



個別避難支援計画の作成状況と課題

問 災害時における避難行動要支援者に対する個別避難支援計画の作成状況を聞く。また、計画の作成に当たっては、どのような課題があると考えているのか。

答 今年度は小坂地区、新神田地区での避難行動要支援者名簿活用に関するモデル事業において、各地区の個別避難支援計画を作成した。明年度も引き続き、他の地区でモデル事業を行い、計画作成を進めていく。また、「地域支援者の確保が困難」「医療行為が必要な方や障害特性がある方への対応が難しい」等の意見を聞いており、今後、計画に実効性を持たせるよう取り組んでいかなければならないと考えている。(市長)

次期ノーマライゼーションプランについて

問 精神障害者への対応については、他の障害者に比して理解が深まっておらず、バリアフリーが行き届いていない。市内の様々な公共施設で、知的障害、発達障害、精神障害のある人にとって有効な取組を進めるべきと考えるが、本市としてどのように具現化していくのか。

答 次期プランでは、公共施設や公共交通におけるユニバーサルデザインはもとより、障害の有無に関係なく全ての人が相互に理解を深め合う心のユニバーサルデザインなど、各分野におけるユニバーサルデザインの推進を重点施策として掲げた。障害のある人などが地域で安心して暮らすことができるよう支援体制を構築するほか、福祉局と保健局を福祉健康局に改編し、障害福祉の分野においても、一体的に推進していく。(市長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 災害時における要支援者の避難について
- 2 ノーマライゼーションプラン金沢について
- 3 ウィズコロナ、ポストコロナのまちづくりについて



みらい金沢
麦田 徹 議員



防災・避難所について

問 洪水浸水想定区域の見直しを踏まえ、避難所が浸水想定区域内に含まれる場合など、避難所を指定していく上で見直しが必要になると考えるが、所見を聞く。

答 洪水浸水想定区域の拡大に合わせ、改めて避難所の立地場所や構造条件等を確認し、浸水想定区域内にある場合は2階以上を使用するなど、洪水時の使用可能範囲を見直したところである。新年度は、大型商業施設など避難所の新規指定に向けた調査や選定を進める。また、市内209か所の指定避難場所のうち、水害時には185か所、土砂災害時には201か所が使用できることから、災害の種類に応じた避難場所の周知に努めていく。(市長)

千田北遺跡の笠塔婆について

問 千田北遺跡から発掘された笠塔婆は、金箔をあしらっており、金沢箔の原点とも言えるのではないかと考えるが、この笠塔婆を地元の公民館で展示できないか。

答 地元のことを知って愛着を持つことは大切だと思う。一方で、温度・湿度の管理が必要な保存処理を施した出土品の取扱いや、展示用ケースの確保など、解決すべき課題もあるので、今後検討したい。(市長)



千田北遺跡から発掘された笠塔婆

【質問事項】(一問一答方式)

- 1 防災に関して
- 2 観光に関して
- 3 文化財に関して
- 4 金沢マラソンに関して
- 5 除雪に関して



金沢保守議員会
栗森 慨 議員



審議会の在り方について

問 審議会等の女性委員の割合は、現時点で26%余りで目標とかけ離れているが、今後、どう取り組むのか。また、各種団体に対して女性が参加できるように指導することが行政に求められていると考えるが、どうか。さらに、審議会等の審議過程や最終報告の情報を全て開示する必要があると思うが、どうか。

答 関係機関や各種団体の充て職での女性選出が難しいことが一因となっているが、公募による委員の女性比率は半数を超えているため、公募委員を増やす取組を行っていきたい。また、各種団体へは、間口を広げる指導について考えたい。情報開示については、改めて肝に銘じ、議会や市民の信頼を得られるよう取り組む。(市長)

除雪対策について

問 雪害対策本部が設置されれば1町会当たり除排雪委託費の3分の2が、30万円を上限に補助されるが、対象が市道に限定されているため、市道以外は主要道路や通学路でさえも補助対象とならない。補助対象路線や上限額の見直しが必要だと考えるが、どうか。

答 町会からは、対象路線や補助率の拡大、限度額の引上げなどの様々な要望があるので、除雪の実態をいま一度把握し、どのような対応が可能か検討していきたい。(市長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 審議会の在り方について
- 2 新型コロナウイルス対策について
- 3 除雪対策について



公明党金沢市議員会
上原 慶子 議員



医療施策について

問 子宮頸がん予防ワクチン接種対象者に対して個別送付による情報提供を行うべきと考えるが、通知内容も含め、市長の考えを聞く。

答 接種対象者と保護者が、接種の是非を判断するためにも詳細な情報提供は必要であると考えている。定期接種であることさえ知らない人が多くいることから、それが分かるよう明記した上で、市の窓口を含めた相談先一覧等を記載した書面を個別送付する。 (市長)

子どもの貧困対策について

問 子ども宅食サービスに対する市長の考えを聞く。

答 市内の幾つかの子ども食堂を訪問した際、ここに来ることさえできない子どもたちにしっかりとアプローチしていきたいが、限界があるとの声を聞いた。友好交流都市である文京区では、子ども宅食が行われ、国会でも議員連盟をつくり研究していると聞いている。課題はあるが、行政からアプローチしていくことを模索できないかと思っている。明年度、有識者や子育て支援団体等で構成する検討会を設置し、どのようなことができるのか、研究していきたい。 (市長)

【質問事項】 (一括質問方式)

- 1 医療施策について
- 2 パートナーシップ制度について
- 3 子どもの貧困対策について
- 4 救急体制について
- 5 環境施策について



日本共産党金沢市議員団
大桑 初枝 議員



子育てと教育の無償化について

問 学校給食は、学校給食法で義務教育の一環として位置づけられている。文部科学省の調査では、保護者が負担する義務教育費の4割を給食費が占めており、重い負担になっている。衆議院において、文部科学省としては、「学校給食を無償化するか否かについては、学校の設置者が判断すべきもの」との答弁があったことから、学校設置者である市長に学校給食無償化に踏み切る判断を求めるが、どうか。

答 学校給食法では、給食の実施に必要な経費のうち、保護者は人件費や施設整備費以外の経費を負担することになっているが、本市は光熱水費も負担しており、保護者の負担は食材費のみであることから、現時点で学校給食の無償化は考えていない。 (市長)

介護士の就業支援について

問 第8期介護保険事業計画の介護士に対する施策の内容と見通しの中で、介護職員の人材確保について掲げられている。今回の計画の中で、新たにUJIターンした人への補助制度が創設されたが、期待できるのか。

答 介護職員の確保については、これまで働きやすい職場環境の整備に取り組んできたところだが、さらに、県外から市内に転入し介護職員として就業した人に対して転居費用等を助成するUJIターン介護職員就業支援事業を創設するとともに、県外での就職セミナーや移住ポータルサイト、SNS等の様々な手段を使い、積極的にPRしていく。 (市長)

【質問事項】 (一括質問方式)

- 1 市立保育所の在り方について
- 2 子育てと教育の負担軽減について
- 3 介護士の就業支援について



創生かなざわ
熊野 盛夫 議員



全ての人の暮らしを守るセーフティーネットについて

問 生活が経済的に困窮しても、生活保護の申請をためらう要因として、家族・親族に経済的な援助の可否を聞く扶養照会がある。今般、国から通知があり、その取扱いが改正されたと聞いているが、本市としてどのように受け止め、今後どのように対応していくのか。

答 これまでも、扶養義務の履行が期待できない場合には扶養照会を行わない取扱いとしてきた。今般の国の通知は、現在の国民の生活実態に沿って運用するように判断基準の明確化を図ったものであると理解している。本市では既に、申請時に丁寧に生活状況を聞き取り、柔軟な運用を行ってきたところだが、今回の通知の趣旨を改めて踏まえ、今後とも、申請者に寄り添った対応に努めていく。 (市長)

金沢港の整備推進と周辺地域の活性化について

問 当初予算で示された小口混載輸送サービスの確立に向けたトライアル事業は、コロナ禍でクルーズ船事業が停滞する中、金沢港活性化のための王道とも言える事業ではないかと考えるが、この事業の目的や詳細、地域に与える影響等について聞く。

答 小口貨物の個別集荷を得意とする大手宅配事業者の協力を得て、輸出国ごとに1本のコンテナを仕立てるトライアルを石川県と連携して行うこととしている。これにより、新たな需要を開拓し、小口混載貨物サービスの定着を図ることで、金沢港のさらなる利便性の向上に努めていく。 (市長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 金沢市が発信するSNS情報について
- 2 生活保護の申請状況と市の対応について
- 3 令和3年度当初予算について



金沢市議会自由民主党議員会
喜多 浩一 議員



金沢未来のまち創造館について

問 金沢未来のまち創造館は、官主導ではなく、市民や学生、企業などの民が主役となり、自由な発想と活力が湧き出る場所にしなければならないと考えるが、民間人材の配置について聞く。

答 次世代の移動通信システムである5G環境の整備に合わせNTTグループから技術系職員の派遣を受け入れることとしている。 (市長)



金沢未来のまち創造館のイメージ図

電子回覧板について

問 電子回覧板については、米泉地区で特に利用が進んでおり、日頃の情報交換だけでなく、防災訓練などでも活用されているほか、今年の成人式での遠方者の出席確認などでは大変重宝したと聞いているが、電子回覧板の普及促進について聞く。

答 ウィズコロナの時代を見据え、明年度、電子回覧板アプリを活用し、各校下町会連合会へ市政情報を配信する。さらに、アプリの導入等に係る補助率や限度額を引き上げ、助成制度の拡充を図る。 (市長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 金沢未来のまち創造館について
- 2 教育改革などについて



自由民主党金沢市議員会
小間井 大祐 議員



ワクチン接種と自然免疫力の向上について

問 人は自然免疫と獲得免疫の二つで侵入したウイルスなどから体を守っている。獲得免疫であるワクチン接種と並行し、一人一人が感染予防に努めるとともに、運動や食事、生活習慣の改善、ストレスの低減などによる個人の自然免疫力を高める健康政策に重点を置くべきではないか。

答 免疫力を高め、健康であることが大切なことだと思っている。市民の皆さんには、健康な生活を送っていくことがコロナを含めた様々な対応策になると同時に、本人にとっても最も幸せなことであることを含め、問題意識を共有していきたい。(市長)

可能性を広げる心の通ったICT教育を

問 感染拡大による長期休校等の影響により、教室に入りづらい子どもたちが増えている。タブレット端末を活用したオンライン授業を活用するなど、不登校等の児童・生徒への教育支援体制が必要ではないか。

答 チャット機能を活用した学習支援や、教職員向けにオンライン授業の研修会を実施しており、児童・生徒の学びの保障や教室復帰が図られるように今後も取り組んでいく。(教育長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 ポストコロナ社会の市政について
令和3年度金沢市政の予算方針と財政運営/中長期の方針づくりと実現へのイノベーション/新型コロナウイルス感染症対策/ワクチン接種と免疫力の向上/誰もが健康な社会に向けたデジタルヘルス/デジタル戦略都市・金沢が目指す新しい働き方の先に/テレワークとワーケーションの推進
- 2 次代を担う子どもたちへの教育
ICT版金沢型学習スタイルの開始/不登校等、教室に入りづらい児童・生徒にとってのICT教育/地域社会や文化との接点となるスクールサポーター制度



金沢市議会自由民主党議員会
高 誠 議員



被災地への協力体制について

問 東日本大震災から10年が経過した。本市がこれまで行ってきた被災地支援と現在の支援・協力体制を聞く。

答 職員の派遣や災害廃棄物の受入れのほか、現在も、大雨があった熊本県人吉市などに職員を中長期にわたり派遣しており、これまで延べ44名の職員が6市の被災地で使命感を持って取り組んでいる。(市長)

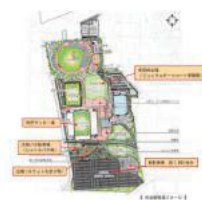


災害現場で活躍する
金沢市消防職員

城北市民運動公園の整備について

問 金沢市民野球場においては人工芝等が整備されたところだが、城北市民運動公園における駐車場整備や公共交通機関の充実について聞く。

答 今年度中に1,180台程度の駐車が可能となるが、今後、サッカー場の整備に合わせ、さらに1,900台分の駐車場を確保する。また、大きな大会の際にはシャトルバスの運行等も想定しており、受入れ体制の充実に努めていく。(市長)



城北市民運動公園の基本計画概要と市民野球場の人工芝整備

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 本市における危機管理体制について
被災地への協力体制について/協力自治体との連携について/消防局員によるコロナ患者への対応について/消防団員活動について/地区防災計画の策定について
- 2 墓地について
墓地の現状について/今後の墓地設置について
- 3 都市計画道路の整備について
進捗状況について/MaaS(マース)の取組について
- 4 水道施設について
長寿命化及び小型化について
- 5 スポーツ関連等について
金沢市城北市民運動公園について



みらい金沢
森 一敏 議員



ガス事業・発電事業の民間譲渡について

問 優先交渉権者が選定されたが、地方公営企業でも、企業債償還後に増加が見込まれるガス事業利益の活用、発電利益の長期貸付け、政策的な投資は可能とされている。企業局がそのまま株式会社化すれば、日本型シュタットベルケ（ドイツ総合公共事業公社）第1号となる。両事業を核に、ゼロカーボンシティとエネルギー安全保障を両立させる創造都市、環境未来都市として輝きを増す金沢が見えてくると思う。経営責任の放棄ではなく、こうしたもう1つの道を市民の英知を集めて展望するのが、責任あるエネルギー自治ではないか。

答 環境未来都市の実現は大切である。公であろうが民間であろうが、目指すべき方向であり、SDGs 未来都市としても、その施策を進めているところである。譲渡事業は進めながらも、目的である環境未来都市に向けて精いっぱい取り組んでいきたい。（市長）

交通ネットワークのまちづくりについて

問 新型コロナウイルス感染症拡大により、路線バスや鉄道線が減収に苦しんでいる。特に、石川中央都市圏を結ぶ石川線と浅野川線が大幅な旅客収入の減少で、大きく採算割れに陥るおそれがあると聞く。鉄道線の維持、存続に向けての本市の基本的な考え方と、鉄道線が抱える経営上の構造的な問題をどう解決していくのか。

答 石川中央都市圏にとって大切な足であり、県や市町で様々な支援事業を行っていると同時に、国へも赤字路線支援のメニューを要望しているほか、石川中央都市圏の協議会でも取り組んでいく。鉄道線が今後も地域の社会インフラとしての機能を発揮するためにも、来年度以降の施設整備等に対し、近隣沿線の市町や県と連携しながら支援していきたい。（市長）

【質問事項】（一問一答方式）

- 1 ガス事業・発電事業の民間譲渡について
- 2 交通ネットワークのまちづくりについて
- 3 市民のつづやきから
ラブホテル・レジャーホテルの新型コロナ対策支援事業からの除外への嘆き／学校給食の公会計化を切望する現場の声に



金沢保守議員会
新谷 博範 議員



金沢歌劇座の調査について

問 新年度予算で玉川図書館と鈴木大拙館の改修に向け、谷口吉生氏による調査が行われるが、なぜ併せて金沢歌劇座についても調査しないのか。

答 金沢歌劇座は谷口吉郎氏の監修だが、設計したのは民間企業である。息子の谷口吉生氏にも相談しているが、老朽化も進んでいることから、課題を整理しながら進めていきたいと考えている。（市長）

過去の体罰について

問 学校教育法で禁じられている体罰について、昭和、平成を含め、頻繁に行われていたと認識しているが、見せしめ体罰指導が横行した時代を二度と繰り返さないため、その被害者たちにどのように公式に謝罪の意を伝えるのか。

答 昭和22年の学校教育法施行後も、本市において体罰を理由とした懲戒処分等がなされた教員がいたことは事実である。過去の体罰と行き過ぎた行為に対し、市民の代表である議員がいる本会議場の場を借り、教育委員会を代表して深くお詫びを申し上げる。これからも体罰の根絶のために全力で取り組んでいきたいと思っている。（教育長）

【質問事項】（一問一答方式）

- 1 新年度予算について
- 2 公共交通支援について
- 3 市内公園について
- 4 金沢市教育行政
- 5 社会福祉法人金沢市社会福祉協議会について



創生かなざわ
玉野 道 議員



持続可能な社会の実現に向けた「木の文化都市・金沢」における継承と創出に関して

問 縁付金箔の仕事出しに向けた取り組むべき具体策と、金沢城址前の洋館に対する支援策について聞く。

答 新年度に技術のアーカイブや高い技術を発信するための4K映像を製作し、多くのアーティスト等の目に触れる機会を増やすことで、新たな用途の開拓につなげていくほか、今後実施するハード・ソフトの事業の中で、縁付金箔を取り入れることができないか精査していきたい。また、金沢城址前の洋館については、金澤町家再生活用事業の支援対象となることから、保存活用支援に向けて、所有者と協議していきたい。(市長)

「令和時代の子育て・教育施策」に関して

問 本市のGIGAスクール構想へのビジョンと課題、教員のスキルアップと指導体制、人的資源の有効活用及び加配教員の配置工夫について聞く。

答 教育のICT化を着実に推進するため、教員対象の操作研修を進めており、明年度以降もGIGAスクールサポーターを活用した校内研修やヘルプデスク窓口での個別対応等を通して、学校間での大きな違いが生じないように努めていく。また、教職員の定数には限りがあることから、研修の充実により、資質や指導力の向上を図るとともに、地域人材の活用を行っていくほか、習熟度別指導や児童・生徒支援等に応じた適切な配置となるよう努めていく。(教育長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 持続可能な社会の実現に向けた「木の文化都市・金沢」における継承と創出に関して
- 2 「令和時代の子育て・教育施策」に関して



自由民主党金沢市議員会
宮崎 雅人 議員



本市所有の土地活用について

問 金沢港クルーズターミナルの周辺地区において、戸水2丁目にある市有地は、敷地が広いことから、金沢港と合わせた活用などを考えてもらえればと思うが、この市有地については、今後、どのような活用を考えているのか。

答 当該用地は、鞍月の土地区画整理事業に際し、将来のまちづくりの種地として取得したもののだが、この場所は駅西地区のみならず、市全体のまちづくりにとっても、大切な場所であることから、総合的かつ慎重に、様々な可能性について考えていきたい。(市長)

県庁周辺の市道について

問 県庁の周辺地域は、金沢市都市計画マスタープランにおいて、日常生活に必要な施設の立地を誘導する地域として位置づけられているが、その道路は整備からかなりの年月が経過しており、歩道部分の平板ブロックの損傷が著しい箇所が多く見受けられる。その状況を踏まえ、市としてどのような対応をとっているのか。

答 県庁周辺の歩道部の平板ブロックは、景観に配慮した質の高い整備を行う方針の下、設置されたもののだが、道路パトロール等を通じて路面の損傷を確認した場合、できるだけ速やかにアスファルトによる応急的な補修を行っている。(土木局長)

【質問事項】(一問一答方式)

- 1 活力とにぎわいを生み出すまち
- 2 本市所有の土地活用について
- 3 県庁周辺の市道について
- 4 誰もが安全で安心できる暮らしづくりについて
- 5 コロナによる本市の財政影響について

本会議の発言から (緊急議会)



自由民主党金沢市議員会
久保 洋子 議員



新型コロナウイルス感染防止特別対策について

問 本市の医療環境や地域の実情に見合った必要な接種体制の確保について、市長の考えを聞く。

答 大きく4つの体制を考えている。1つ目は、市内の医療機関での個別接種、2つ目は、金沢広域急病センターや医療機関が設置する特設会場での接種、3つ目は、石川中央都市圏内の市町間での広域接種であり、多くの市民の円滑な接種を可能にすること、4つ目は、医療機関での接種が困難な高齢者施設等への入所者に対する、本市独自の医療チームによる巡回接種を実施していく。(市長)

【質疑事項】(一括質問方式)

- 1 新型コロナウイルス感染症緊急対策



みらい金沢
山本 由起子 議員



新型コロナウイルスワクチン接種体制について

問 住民票のない学生やDV被害者等への新型コロナウイルスワクチンの接種機会の確保について、どのように対応するのか。

答 できるだけ多くの接種場所を確保することによって、近くで接種できる環境を整備していくことが大切である。今回の接種に関しては住所地での接種が原則となっているが、やむを得ない事情により住所地以外での接種を希望する場合には、住所地外接種届出済証の交付を受けることで接種が可能となる。(市長)

【質疑事項】(一括質問方式)

- 1 新型コロナウイルスワクチン接種体制について



金沢市議会自由民主党議員会
下沢 広伸 議員



感染症防止特別対策について

問 ワクチン接種の手续において、4市2町で連携するとしているが、本市の役割や他の自治体との連携内容を聞く。また、何かしらの理由によりワクチン接種会場に行けない市民への対応と、交通手段が不便な地域における接種会場について聞く。

答 住所地以外の自治体で接種を行う場合、住所地外接種届出済証の交付が必要になるが、4市2町が連携すれば手続が不要となる。また、でき得る限り接種会場を確保し、近隣の医療機関で接種が受けられるよう環境を整備する。さらに、医療チームを編成し、医療機関で接種が困難な高齢者、障害者施設等の入所者に対して巡回接種を予定している。(市長)

【質疑事項】(一括質問方式)

- 1 感染症防止特別対策について
- 2 飲食業・宿泊業支援特別対策について



金沢保守議員会
前 誠一 議員



新型コロナウイルスワクチン接種対策について

問 本市のワクチン接種計画について、スケジュールや場所、副反応への対応など、具体的にどのように考えているのか、国からの工程内容と併せて聞く。また、ある世論調査では、市民の6割が接種を希望しているようだが、本市としては、どれくらいの接種者数を想定しているのか。

答 多くの市民が円滑に接種できるよう、個別接種、特別会場での接種、4市2町の連携による接種及び巡回接種を組み合わせた体制で行う。副反応への対策は、迅速かつ適切に対応できるよう、実施医療機関等と連携していく。国が示す工程では、4月以降、高齢者優先で開始するが、本市でも、国の工程に基づき実施していく。(市長)
接種想定者数は、市民の対象者のうち7割で、約26万3,000人を想定している。(保健局長)

【質疑事項】(一括質問方式)

- 1 新型コロナウイルスワクチン接種対策について
- 2 飲食業・宿泊業支援特別対策

2月15日に、新型コロナウイルスワクチン接種及び飲食業・宿泊業を支援するための補正予算を審議する緊急議会が開催され、7人の議員が質疑を行いました。

※掲載している内容は、発言した議員本人が作成した原稿をもとにしています。 ※党派名は、発言時における所属党派等名を記載しています。



公明党金沢市議員会
稲端 明浩 議員



新型コロナウイルスワクチン接種について

問

本市在住だが他都市に住民票があるなど、やむを得ない事情がある人や外国籍の人の接種については、どのような対応になるのか。

答

国は、原則として住所地での接種と定めているが、接種を希望する医療機関が所在する自治体から住所地外接種届出済証の交付を受けることで住所地以外の医療機関での接種が可能となる。また、外国籍の人でも日本国内に住民登録があれば接種が可能となる。住民登録のない人への対応については、国から方針が示されておらず、市からも国へ問題提起し、その返事を待っているところである。(市長)

【質疑事項】(一括質問方式)

- 1 新型コロナウイルスワクチン接種について



創生かなざわ
熊野 盛夫 議員



ワクチン接種の副反応について

問

ワクチン接種について、市民からは、集団免疫獲得のために一日も早く接種を進めてほしいという声のほか、通常のワクチンのように十分な検証期間を経ていないので非常に不安だという声を聞いている。不安の多くは、接種に対する副反応についてだと思われるが、副反応が発生したときの対応やそれらの情報公開について聞く。

答

接種者に副反応が確認された場合、県を通じ、全ての症例を国に報告することになっており、情報公開については、国が一元的に情報を管理して責任を持って対応することになっている。万が一、予防接種により健康被害が生じた場合、予防接種法に基づき、重篤度に応じて医療費や障害年金の給付を受けることとなる。(市長)

【質疑事項】(一括質問方式)

- 1 感染防止特別対策
- 2 飲食業・宿泊業支援特別対策



日本共産党金沢市議員団
広田 美代 議員



新型コロナウイルスワクチン接種について

問

医療機関は慢性的な人手不足の中、通常診療に加えコロナ対応があり、さらにワクチン接種が加わることは大変な負担である。医療機関任せではなく、市としての対策をどうするのか。また、国ではマイナンバー活用論も出ているが、本市ではどうするのか。

答

接種に協力してもらえる医療機関に対しては、円滑に実施できるように、市としてなし得る限りの支援に努める。マイナンバーの活用については、詳細が明らかになっていないので、本市独自のシステムを改修することにより進めていきたい。(市長)

【質疑事項】(一問一答方式)

- 1 感染防止特別対策について
- 2 飲食業・宿泊業支援特別対策について

提案理由説明(要旨)

◆新型コロナウイルスワクチン接種の実施

医療機関での接種が困難な高齢者施設等の入居者へは、市立病院の医師や看護師等を中心に本市独自の医療チームを編成し、巡回による接種を実施していく。また、石川中央都市圏において連携し、圏域住民の利便性向上と確実なワクチン接種を実施していく。

◆飲食業及び宿泊業への緊急支援

大人数での会食や外出の自粛等により売上げが大幅に減少している飲食業者に対し、事業継続するための特別給付金を支給する。また、観光客等の減少による影響が顕著となっている宿泊事業者には、施設の適正な衛生管理等を促すための奨励金を支給する。

常任委員会連合審査会

自由民主党金沢市議員会



久保 洋子 委員

問 プレ妊活健診とはどのような内容の健診なのか。

答 夫婦で気軽に受診してもらうことで、妊娠・出産の正しい知識の普及啓発を図るとともに、治療の必要な夫婦に早い段階での気づきの機会を提供する事業と位置づけている。健診内容については、共同実施する県とともに、産婦人科医会と協議しているところである。(健康政策課長)

問 新生児臨時特別給付金の対象を令和3年3月31日生まれまでとした市長の思いを聞く。

答 国の特別定額給付金の対象が4月27日生まれで線引きされたことには疑問を感じていた。また、8月1日以降に生まれた新生児からはロタウイルスが定期接種となることから、どちらにも該当しない子の保護者の不公平感を払拭したいとの思いからこのような取扱いとしたものである。(市長)

【質疑事項】

- ①少子化の現状と母子保健、女性の健康支援について
- ②美大の卒業・修了作品魅力発信事業の活用について



上田 雅大 委員

問 安原異業種工業団地の第2期分譲地の造成時期や予定区画数、分譲予定の時期について、具体的にいつ頃になるのか。

答 造成工事の完了は令和5年3月を予定しており、現時点で区画数は未定だが、令和3年度の夏頃までに分譲予約を実施したいと考えている。(経済局長)

問 金沢駅東広場のバス乗り場では、点字ブロックを遮るように人が並び、視覚障害者が歩行できなくなるほど道幅いっぱい人が広がっているが、本市としてどのように取り組み、整備を行う予定なのか。

答 視覚障害者団体やバス事業者などと協議を進め、白線の本格的な引直しや点字ブロックの再配置により、人が交錯しないようできるだけ早期に改善を図っていきたい。(土木局長)

【質疑事項】

- ①消雪用地下水の利活用について
- ②五感にごちそう金沢宿泊キャンペーン事業について
- ③金沢フィルムコミッションについて
- ④安原異業種工業団地について
- ⑤金沢駅の駅東広場点字ブロックについて

金沢市議会自由民主党議員会



黒沢 和規 委員

問 新交通システムを基幹として、MaaS*により新しい市内交通体系を構築することは避けて通れないと考えるが、市長の所感を聞く。

*MaaS…全ての交通手段を一つのサービスと捉える新たな移動の概念

答 先行自治体で取り組んでいるところもあるので、それらを参考にしながら、来年度、いろいろな専門家に入ってもらい、利便性を向上する具体的な施策に取り組んでいく。(市長)

問 新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、令和3年度の小中学校の修学旅行は、どのように対応するのか。

答 4月に関西方面を予定していた学校は、校長会からの申出により秋に実施することとした。今後は、感染症の状況を踏まえる必要があるが、できる限り実現できるように校長会に検討を求めている。(教育長)

【質疑事項】

- ①市内都市交通体系の構築と新しい交通システムの導入について
- ②本市の小中学校の修学(教育)旅行の実施と他都市からの受入れについて
- ③事務分掌条例の一部を改正する条例に関わる機構改革について

金沢市議会自由民主党議員会（つづき）



中川 俊一 委員

問 都市計画道路泉野々市線の整備が進んでいる中、道路整備により横断がしにくくなり、町会の分断にならないか心配の声が上がっているが、どのように考えているのか。

答 北陸鉄道石川線との立体交差は従来の計画ではアンダーパス方式で横断道路は1か所の予定だったが、オーバーパス方式に変更し、横断道路を複数確保する。
(道路建設課長)

問 藤井病院は5年間、保険医療機関取消処分を受けた。新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、医療機関の閉鎖は何としても避けなければならないが、どうか。

答 保険医療機関取消処分までに、新たな医療法人が診療を継続する予定である。また、当該病院は二次救急医療機関であり地域医療に重要な役割を担っているため、新法人への移行が円滑にできるよう県と連携し対応していく。
(市長)

【質疑事項】

- ①都市計画道路泉野々市線について
- ②道路損傷通報サービスについて
- ③保険医療機関の指定を取り消された医療機関について

みらい金沢



田中 美絵子 委員

問 子ども110番の家と車について、さらなる周知を図る必要があると感じているが、今後、どのような広報を行い、周知させていくのか。

答 子ども110番の家については、小学校3年生の社会科で学習することとなっており、教育委員会で作成している副読本には、学校の周りの安全マップ作りを例示している。子ども110番の車については、副読本の次回の改定で取り入れ、より周知が図られるよう取り組んでいく。
(学校指導課長)

【質疑事項】

- ①通学路の安全確保について
- ②男性の育児休業について



喜成 清恵 委員

問 金沢市内の「こども食堂」が、どれだけの数になることを理想としているのかを聞く。

答 子どもが歩いて行ける距離にあることが必要であり、各小学校区に1か所以上設置されることが望ましいと考えている。
(市長)

問 防災備蓄品として保管され、更新に伴い不要となった生理用品について、購入困難者が利用できるようならないかを聞く。

答 製品の品質等についてメーカーの見解を確認し、提供が可能なのか、また、廃棄すべきなのかを判断していきたい。
(危機管理監)

【質疑事項】

- ①子ども食堂開設等支援費について
- ②防災備蓄品について



山本 由起子 委員

問 市立工業高校の今年度の入学者において、手持ちの制服使用希望者が何人いて、その結果はどうであったか。

答 4人からリユース制服の使用希望があったが、双方で協議した結果、4人全てが新規で購入した。
(市立工業高校事務局長)

問 生徒の家庭の経済的負担軽減の観点から、リユース制服等の着用を柔軟に認めることを求めるが、どうか。

答 家庭の経済的負担軽減の観点から、制服以外の購入が困難な場合も含め、より柔軟にリユースを認めていく。
(市立工業高校事務局長)

【質疑事項】

- ①金沢市立学校の制服等について
- ②教職員の時間外勤務の縮減に向けた取組について

金沢保守議員会



小林 誠 委員

問 3月定例月議会の提案理由説明(施政方針)は、リーダーとしての1年間の思いや決意を述べる場となっているが、市長にとっての位置づけを聞く。

答 新年度の方向性を明確にし、具体的な施策について説明するものであり、市政に対する思いと併せ、施政方針として市民に示すことが大切だと思っている。(市長)



提案理由説明

問 国は令和7年度までに全学年で少人数学級を実施する方針を示した。本市では小学1～4年生までで少人数学級を実現しているが、今後、5～6年生を対象としていくに当たり、教室の改修の必要性やそのほかの課題について聞く。

答 教室をしっかりと確保するとともに、エアコンなどの整備も計画的に準備していく。また、教員の確保や質の向上を図っていく。(教育長)



本市の少人数学級の様子

【質疑事項】

- ① 山野市長の提案理由説明について
- ② 教育施策について



新谷 博範 委員

問 企業局経営戦略2016には、ガス・発電事業譲渡計画はなかったが、いつ発案があったのか。

答 企業局経営戦略2016の策定以降、電力及び都市ガスがそれぞれ小売全面自由化され、事業を取り巻く環境が大きく変化してきたことから、企業局内において調査・研究を進めてきたところである。(経営企画部長)

問 1月に発電事業が200億円で取引された事例があるが、倍の年間発電量を持つ本市の発電事業には、単純計算で400億円以上の市場価値があることを認識しているのか。市民の財産を売却するのに、価格について心配はなかったのか。

答 指摘の事例は報道の範囲で承知している。本市の譲渡価格は、選定委員会の審議結果に基づき適正に設定したところである。(公営企業管理者)

【質疑事項】

- ① ガス・発電事業譲渡決定手続と譲渡時期

公明党金沢市議員会



稲端 明浩 委員

問 再生エネルギー施設の開発行為に対して住民の同意が得られない場合もあることを考えると、自治体としての再生可能エネルギー設備導入のビジョンが必要ではないか。

答 再生可能エネルギーは、今般策定した地球温暖化対策実行計画における基本方針の一つとして推進していく。一方、大規模な開発には周辺住民の理解のほか、生態系等の自然環境や景観との調和など、バランスの取れた開発とすることが事業者に求められており、その上で調整が図られるよ

う、まちづくりの観点からも粘り強く対応していく。(環境局長)

問 再エネ100%は、市役所及び市の公共施設においても取り組むべきであり、公的機関として模範を示すべく、ゼロカーボンシティ推進本部の重要な取組と捉えるべきではないか。

答 再エネ100%は、市民、企業の皆さんの協力によって進めていくことではあるが、まずは公共施設の再エネ100%に取り組み、進めていくことが大切である。ゼロカーボンシティ推進本部において、十分に進めていく。(市長)

問 環境問題における市民の意識啓発において、何を重視し、どのように進めるべきと考えるか。

公明党金沢市議員会 (つづき)

答 一過性のものでなく、市民一人一人に身近な問題として感じ、考えてもらえる意識づけが必要であり、これまでよりも体験型の要素をさらに深めていく。また、金沢美大の学生と協働での啓発コンテンツを作成し、美大生の感性を生かした発信により、これからの若い世代に地球環境について考え、行動してもらえよう促していく。

(環境局長)

問 来年度の食品ロス削減の新たな取組について聞く。

答 NPO 団体と協力し、小売店から子ども食堂などに定期的に食品が提供される仕組みを構築するフードバンクモデル事業を始めるほか、小売店と連携し、賞味期限の近いものを購入する、いわゆる手前取りの啓発キャンペーンを実施する。また、環境省事業として開発された食品ロスダイアリーアプリに食品ロスを記録してもらってモニター家庭を募集し、家庭での未利用品や食べ残しの実態を調査する取組を新たに行う。(環境政策課長)

【質疑事項】

- ①ゼロカーボンシティへの取組 ②教育施策

日本共産党金沢市議員団



広田 美代 委員

問 道路法第 42 条では、除雪が道路管理者の義務として明示されている。よって、市道の除雪は原則、道路管理者である市が行うよう努めるべきという認識でよいか。

答 道路法によって努めるということは、市の責務であると思っている。ただ、現実問題として、本市行政だけで全てできるものではなく、民間事業者や市民の力も借りながら努めていかなければならないと認識している。(市長)

問 最初から市道の 4 割しか除雪しないという計画は、法の趣旨に反しているのではないか。近隣都市では 73 ~ 85 % の市道をカバーしている状況であることから、民間への機械の貸与や市の道路等管理事務所の拡充など、計画路線を拡大した積極的な道路除雪計画を作るべきだと思うが、どうか。

答 今後の道路除雪計画の改定に当たっては、委託業者との調整や、町会等からの様々な意見を参考に、委託業者の掘り起こしに努めながら、必要な路線については、計画路線の指定を検討していく。(土木局長)

問 市が除雪を行わない 6 割の市道については、地域で補助制度を使って除雪するよう計画で定めているが、それは道路法の趣旨から逸脱するし、財政上の理由などで制度を使えない町会もある。また、その補助金は、市民が有料で購入したごみ袋の積立てから出されており、税金以外の新たな負担によっている。そのため、市が市道を除雪できない間は、全額補助するとともに、適用期間をなくすべきと考えるが、どうか。

答 本市の除雪計画に定めた役割分担に基づき、市民協働による除雪に対し、その一部を助成しているが、全額負担は考えていない。適用期間については、実態を踏まえ検討する。(土木局長)

問 これまで、本市のガス事業と水道事業の保安は一体で行っており、特に夜間・休日等の時間外における相談対応は、ガス事業法に基づくものだが、仮にガス事業がなくなり、水道事業のみとなっても、24 時間対応が行われるのか。

答 市民の安全・安心を確保するため、24 時間対応は当然必要と考えており、他の業者の状況も十分検討しながら、対応について検討する。

(公営企業管理者)

【質疑事項】

- ①本市除雪について
②ガス・発電事業譲渡方針に伴うガス・水道への影響について
③GoTo 施策と新型コロナウイルス感染について

このほか、創生かなざわの玉野道委員が「国の『新子育て安心プラン』と『新・放課後子ども総合プラン』に掲げる目標について」の質疑を行いました。

常任委員会の要望事項

3月19日の本会議において、令和3年度予算に係る議案が全会一致または賛成多数をもって、いずれも原案のとおり可決されました。本会議での採決に先立ち、各委員長による委員長報告が行われ、下記のとおり要望事項が付されました。



総務常任委員会

高誠委員長



1 新型コロナウイルス感染症の感染拡大など、圏域を取り巻く環境の変化を踏まえ、来年度からの5か年計画となる第2期石川中央都市圏ビジョンに基づき、住民ニーズの複雑化・多様化に対応するとともに、行政サービスの向上を図ること。また、本市がSDGs未来都市に選定されたことを受けて、様々な事業にSDGsの視点を取り入れ、「誰もがしあわせを感じる未来」を目指す金沢ミライシナリオの実践に向けた取組を進めること。

2 新型コロナウイルス感染症の影響等により、市税の大幅な減収が余儀なくされる中、感染拡大防止と社会経済活動の両立に係る施策や公共施設の再整備等の推進に大きな財政需要が見込まれることから、中期財政計画や行政改革大綱を踏まえ、中長期的な視点に立って、財政の健全性を堅持すること。

3 デジタル技術の導入による行政サービスの向上と職員の働き方を改革するスマートワークの推進に向けて、個人情報保護やデジタルデバイドの是正に取り組みながら本格実施に向けた準備を適切に進めること。また、男性の育児休業制度のさらなる推進に取り組むなど、仕事と子育てが両立できる環境整備を進めること。



経済環境常任委員会

小間井大祐委員長



1 コロナ禍での経済対策として、事業者や商店街への各種支援が行われているが、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化していることを踏まえ、国・県とも連携を深めながら、地域経済が活性化していくための適時適切かつ大胆な施策に取り組まれない。

2 近年、熊やイノシシ、猿等の有害鳥獣による人

身被害や農作物被害が多発していることから、やぶ刈り等による緩衝帯整備や猟友会等と連携した捕獲体制の強化をこれまで以上に進めるとともに、獣害防止に効果的な手法を調査し、被害発生を防止するための抜本的な対策を検討するなど、市民の安全・安心の確保に意を用いられたい。

3 地球温暖化対策実行計画における「ゼロカーボンシティかなざわ」の実現に向けては、市民・事業者・行政がそれぞれの役割と責任を持って、温室効果ガスの削減による持続可能な社会の実現に向けて取り組む必要があることから、各主体とこれまで以上に連携・協力して取り組まれない。



市民福祉常任委員会

喜多浩一委員長



1 新型コロナウイルス感染症対策では、ワクチンについて円滑に接種を受けられるよう、県や医師会等と連携し、万全の体制を構築するとともに、適宜、正確かつ丁寧な情報発信を行うこと。保健所の検体検査や相談体制の強化を図るため、保健所職員の増

員及び早急な人材確保を行うほか、市立病院では、引き続き、感染症病床を確保するとともに、医療従事者の早急な人材確保や、在宅での遠隔診療の推進など、医療提供体制の充実に努めること。高齢者施設や障害者施設、保育所などの施設においては、引き続き、感染防止対策に取り組むこと。また、高齢者施設等においては、県と連携し、介護職員等の応援派遣を円滑に行えるよう、施設間の協力体制を支援すること。

2 新年度に「こども未来部」から「こども未来局」へ格上げすることに伴い、子育て世帯の負担軽減や子どもを育む環境の充実にこれまで以上に努めるとともに、子どもを貧困や虐待から守る対策のさらなる強化を図るなど、子育て支援策の総合的かつ重点的な推進に積極的に取り組むこと。

3 高齢者が住みなれた地域で健やかに生活を続けられることを目指し、健康づくりによる介護予防のさらなる充実を図るため、フレイルの早期発見に加え、脳トレや音楽療法、運動療法などのフレイル予防のための各種取組について、新しい生活様式に配慮しながら、これまで以上に積極的に取り組むこ

と。このことにより、健康寿命が延び、ひいては、持続可能な介護保険制度が実現することを併せて望むものである。

4 市民協働の推進について、コロナ禍により対面で町会活動等を行うことが難しい中で、本市が培ってきた地域コミュニティの維持・活性化を図るため、町会や各団体が ICT 化に対応してオンラインで活動や交流を行えるよう、電子回覧板の導入などの各種支援や、そのサポート体制の強化、多様な媒体・手法による分かりやすい情報提供など、デジタル化や新しい生活様式に対応した取組を推進していくこと。



建設企業常任委員会

前誠一委員長



1 本市のガス事業及び発電事業譲渡の優先交渉権者が決定したが、今後、この優先交渉権者との交渉過程を議会につまびらかにすること。また、令和3年度には、譲渡に関わる条例の議決及び事業譲渡契約の締結を判断していくことになるが、その是非を含め、議会内外に様々な意見があることから、拙速に進めることなく、議会への詳細な説明・議論を重ねるとともに、市民に対しても広報広聴活動を十分

行い理解が得られるよう努められたい。

2 今冬での除雪作業の教訓を次年度以降生かせるよう除雪対策会議で検討するとともに、除雪作業を請け負う業者に対しても技術の向上に向けた取組を検討されたい。また、市民による除雪協力を呼びかけるとともに、除雪にかかる補助制度の充実並びにその周知に意を用いられたい。

3 風格と魅力ある本市の景観を継承・発展させるため、景観計画について誰もが納得し、理解が得られるよう丁寧な説明を続けるとともに、本市の歴史と調和した木の文化都市・金沢の創出に向けた取組を、市民と一緒に進められたい。



文教消防常任委員会

坂本泰広委員長



1 東京オリンピック・パラリンピック関連事業や金沢マラソンをはじめとしたスポーツイベントの実施に当たっては、市民が安心して積極的に参加できるよう、感染症対策に万全を期すこと。また、市民がスポーツに親しみ、スポーツ文化として市民に拡がることにより、地域が活性化され、さらにはスポーツを生かした新たなまちの魅力が創出されるよう、各種施策に一層取り組んでいくこと。

2 文化芸術アクションプランの具現化に当たっては、担い手となる人材を確実に育成していく環境を整備していくこと。また、支え手となる市民が文化芸術に理解と関心を持てるよう、市民が文化芸術に触れることができる多様な機会を広く提供していくこと。

3 近年、大規模かつ激甚化した災害が頻発する中

においては、地域における防災力のさらなる向上が欠かせないことから、今般、設立されるかなざわコミュニティ防災士ネットワークの活動をしっかりと支援するとともに、連携を密にとり、市域全体として災害に強いまちづくりに努めていくこと。また、多様化する災害に確実に対応するため、4市2町による広域的な連携を強化するとともに、高度な救急業務体制をしっかりと整備していくこと。

4 1人1台の学習用端末の導入を契機に、次代を担う子どもたちの独創力の育成が図られるよう、新たに開設する金沢未来のまち創造館における施策など、経済局の取組と教育委員会が連携した ICT 教育の推進を図っていくこと。また、教職員が学習指導に最大限注力できるよう、統合型校務支援システムを活用した業務の効率化による時間外勤務時間の改善など、必要な教育環境を整備していくこと。なお、学習用端末を活用した ICT 版金沢型学習スタイルの実践に当たっては、教職員の ICT 指導能力の向上を確実に図ること。

常任委員会の活動状況

金沢市議会では5つの常任委員会を設けています。定例会議会中には提出された議案の審査を行うほか、定例会議会が開かれていないときも、市政についての課題や市の計画、事業内容を調査しています。

委員会名	開催日	主な報告事項
総務常任委員会	1月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・北陸SDGs未来都市フォーラムの開催について ・金沢市指定管理者候補者の選定について
	2月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・女性活躍推進法に基づく金沢市特定事業主行動計画について ・金沢市デジタル戦略の骨子について
	3月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい交通システムの導入に向けた検討状況について ・第4期金沢市人材育成実行計画について
経済環境常任委員会	1月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・GoToトラベル事業の全国一時停止期間の延長に伴う五感にごちそう金沢・キャンペーン事業の取扱いについて ・金沢農業大学校研修生の修了及び入校について
	2月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度「金沢市はたらく人にやさしい事業所」表彰について ・粟崎町地内における地下水からの有害物質の検出について
	3月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・「金沢市商店街の競争力強化に向けた基本方針」について ・金沢市食品ロス削減推進計画の策定について
市民福祉常任委員会	1月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・金沢市新型コロナウイルスワクチン接種実施本部の設置について ・アクティブシニア活躍応援窓口の開設等について
	2月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・証明書手数料等のキャッシュレス決済の開始について ・オンライン面会の開始について
	3月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカード交付及び住民異動届等に係る日曜窓口の開設について ・幼児教育基本指標「かなざわ幼児教育みちしるべ」の策定について
建設企業常任委員会	1月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・今冬の除雪状況について ・「第7回金沢の景観を考える市民会議～みんなで描く景観のミライ～」について
	2月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・スマホ等による市民からの道路損傷通報サービスの導入について ・金沢市夢ある公園再生・活用計画（仮称）の素案について
	3月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・金沢城北市民運動公園基本計画の概要について ・金沢市ガス事業・発電事業譲渡に係る優先交渉権者の決定について
文教消防常任委員会	1月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度成人式の開催結果について ・令和3年1月7日から20日までの大雪に関する被害状況等について
	2月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・「金沢市宇宙教育推進計画2021」の策定について ・災害時における避難所用簡易間仕切り等の供給に関する協定の締結について
	3月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度第2回金沢マラソン組織委員会の開催結果について ・石川中央都市圏における消防の連携・協力の推進について

令和3年度委員会構成

3月定例会月議会において、令和3年度の委員会構成が決まりました。

常任委員会

総務常任委員会（定数8）

委員長：小間井大祐

副委員長：上原 慶子

委員：大桑 初枝 麦田 徹 喜多 浩一
玉野 道 澤飯 英樹 福田 太郎

経済環境常任委員会（定数7）

委員長：坂本 泰広

副委員長：田中美絵子

委員：熊野 盛夫 久保 洋子 秋島 太
清水 邦彦 高村 佳伸

市民福祉常任委員会（定数8）

委員長：中川 俊一

副委員長：荒木 博文

委員：高岩 勝人 山本由起子 小林 誠
広田 美代 中西 利雄 黒沢 和規

建設企業常任委員会（定数7）

委員長：上田 雅大

副委員長：稲端 明浩

委員：新谷 博範 高 誠 宮崎 雅人
森 一敏 森尾 嘉昭

文教消防常任委員会（定数8）

委員長：栗森 慨

副委員長：喜成 清恵

委員：前 誠一 松村 理治 下沢 広伸
源野 和清 野本 正人 横越 徹

議会運営委員会（定数12、欠員2）

委員長：野本 正人

副委員長：高 誠

委員：栗森 慨 麦田 徹 喜多 浩一
高岩 勝人 宮崎 雅人 森 一敏
源野 和清 広田 美代

特別委員会

デジタル戦略特別委員会（定数10）

委員長：喜多 浩一

副委員長：熊野 盛夫

委員：喜成 清恵 上原 慶子 栗森 慨
高岩 勝人 松村 理治 下沢 広伸
広田 美代 福田 太郎

新型コロナウイルス対策特別委員会（定数9）

委員長：前 誠一

副委員長：坂本 泰広

委員：源野 和清 玉野 道 澤飯 英樹
中西 利雄 清水 邦彦 野本 正人
横越 徹

都市交通特別委員会（定数10）

委員長：小間井大祐

副委員長：荒木 博文

委員：田中美絵子 新谷 博範 高 誠
森 一敏 森尾 嘉昭 秋島 太
黒沢 和規 高村 佳伸

議会広報委員会（定数7）

委員長：宮崎 雅人

副委員長：中川 俊一

委員：稲端 明浩 大桑 初枝 麦田 徹
上田 雅大 小林 誠

令和2年度 2月緊急議会、3月定例会議会 審議結果

■**全会一致の議案** ※審議結果は、金沢市議会ホームページからもご覧になれます。

2月緊急議会の議案

議案番号	件名	本会議の結果
------	----	--------

◇市長提出（議案1件）

議案第60号	令和2年度金沢市一般会計補正予算（第7号）	可決
--------	-----------------------	----

3月定例会議会の議案

議案番号	件名	本会議の結果
------	----	--------

◇市長提出（議案76件中59件）

議案第62号	令和3年度金沢市営地方競馬事業費特別会計予算	可決
議案第64号	令和3年度金沢市公共用地先行取得事業費特別会計予算	可決
議案第65号	令和3年度金沢市工業団地造成事業費特別会計予算	可決
議案第66号	令和3年度金沢市住宅団地建設事業費特別会計予算	可決
議案第67号	令和3年度金沢市駐車場事業費特別会計予算	可決
議案第68号	令和3年度金沢市国民健康保険費特別会計予算	可決
議案第70号	令和3年度金沢市母子父子寡婦福祉資金貸付事業費特別会計予算	可決
議案第76号	令和3年度金沢市病院事業特別会計予算	可決
議案第77号	令和3年度金沢市中央卸売市場事業特別会計予算	可決
議案第78号	令和3年度金沢市下水道事業特別会計予算	可決
議案第79号	令和3年度金沢市公設花き地方卸売市場事業特別会計予算	可決
議案第80号	金沢市公文書等の管理に関する条例制定について	可決
議案第81号	金沢未来のまち創造館条例制定について	可決
議案第82号	金沢市における市民と動物が共生する社会の推進に関する条例制定について	可決
議案第84号	金沢市事務分掌条例の一部改正について	可決
議案第85号	金沢市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の一部改正について	可決
議案第87号	職員の給与に関する条例の一部改正について	可決
議案第88号	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	可決
議案第89号	金沢市手数料条例の一部改正について	可決
議案第91号	金沢市学校設置条例の一部改正について	可決
議案第92号	金沢市体育施設条例の一部改正について	可決
議案第93号	金沢市立中村記念美術館条例等の一部改正について	可決
議案第94号	金沢市における企業立地及び中小企業構造の高度化の促進に関する条例の一部改正について	可決
議案第95号	金沢市障害児通園施設条例の一部改正について	可決
議案第96号	金沢市障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部改正について	可決
議案第97号	金沢市国民健康保険条例の一部改正について	可決
議案第100号	金沢市食品衛生法施行条例の一部改正について	可決

議案番号	件名	本会議の結果
議案第101号	金沢市食の安全・安心の確保に関する条例の一部改正について	可決
議案第102号	金沢市公衆浴場法施行条例の一部改正について	可決
議案第103号	金沢市環境保全条例の一部改正について	可決
議案第105号	金沢市公営企業の設置等に関する条例の一部改正について	可決
議案第106号	金沢市公営企業の設置等に関する条例及び金沢市農村下水道条例の一部改正について	可決
議案第107号	金沢市消防団条例の一部改正について	可決
議案第108号	事務の受託について（給水装置工事事業者の指定等に係る事務）	可決
議案第109号	事務の受託について（排水設備工事事業者の指定等に係る事務）	可決
議案第110号	金沢市芸術文化ホールの指定管理者の指定について	可決
議案第111号	金沢市体育施設（体育館等）の指定管理者の指定について	可決
議案第112号	金沢市体育施設（テニスコート等）の指定管理者の指定について	可決
議案第113号	金沢市体育施設（屋外スポーツ施設等）の指定管理者の指定について	可決
議案第115号	石川県金沢食肉流通センターの指定管理者の指定について	可決
議案第116号	金沢市老人福祉センターの指定管理者の指定について	可決
議案第118号	地区公民館の指定管理者の指定について	可決
議案第119号	包括外部監査契約の締結について	可決
議案第120号	令和3年度金沢市下水道事業特別会計資本剰余金の処分について	可決
議案第121号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	可決
議案第123号	令和2年度金沢市公共用地先行取得事業費特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第124号	令和2年度金沢市工業団地造成事業費特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第125号	令和2年度金沢市駐車場事業費特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第126号	令和2年度金沢市国民健康保険費特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第127号	令和2年度金沢市後期高齢者医療費特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第128号	令和2年度金沢市介護保険費特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第129号	令和2年度金沢市病院事業特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第130号	令和2年度金沢市中央卸売市場事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第131号	令和2年度金沢市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第132号	令和2年度金沢市公設花き地方卸売市場事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第133号	財産の処分について	可決
議案第134号	市道の路線認定について	可決
議案第135号	市道の路線変更について	可決
議案第136号	金沢市監査委員の選任につき同意を求めるについて	同意

◇議員提出（議案9件中6件）

議会議案第33号	金沢市議会会議規則の一部を改正する規則	可決
議会議案第34号	金沢市議会委員会条例の一部を改正する条例	可決
議会議案第38号	新型コロナウイルスワクチンに関する意見書	可決
議会議案第39号	新興感染症対策を含めた地域医療構想の再検討を求める意見書	可決
議会議案第40号	視覚障害者が取り残されないデジタル化の推進を求める意見書	可決
議会議案第41号	コロナ禍における児童・生徒の自殺等の急増への早急な対策を求める意見書	可決

所属会派の変更

宮崎雅人議員、前誠一議員は2月22日付けで、小間井大祐議員は2月25日付けで自由民主党金沢市議員会の所属となりました。

この変更に伴う会派等の構成は以下のとおりです。

- 自由民主党金沢市議員会 11人
- 金沢市議会自由民主党議員会 7人
- みらい金沢 6人
- 金沢保守議員会 4人
- 公明党金沢市議員会 4人
- 日本共産党金沢市議員団 3人
- (無会派)
- 創生かなざわ 2人
- 令政会 1人

みんなの金沢市議会 ～金沢市議会ガイドブック～



議会広報委員会では、金沢市議会を身近なものに感じてもらうために、市議会だよりを発行したり、子ども議会教室を開催するなどの取組を行っております。

その一環として、市議会の活動や仕組みなどについて分かりやすく掲載した「みんなの金沢市議会～金沢市議会ガイドブック～」を、市内の小学6年生の全児童に配布しています。市内図書館や各公民館、市政情報コーナーのほか、金沢市議会ホームページでもご覧になれます。



議会日誌

1月

- 12日 議会広報委員会
- 14日 市民福祉常任委員会
- 18日 経済環境常任委員会
- 21日 建設企業常任委員会
- 25日 総務常任委員会
- 27日 文教消防常任委員会

2月

- 1日 議会運営委員会
- 8日 議会運営委員会
- 10日 議会運営委員会
- 12日 文教消防常任委員会
- 15日 **令和2年度金沢市議会2月緊急議会**
本会議(議案上程・提案理由説明・質疑・討論・採決)
総務常任委員会、経済環境常任委員会、市民福祉常任委員会、建設企業常任委員会、議会運営委員会
- 18日 経済環境常任委員会
- 19日 市民福祉常任委員会
- 22日 議会運営委員会
- 25日 総務常任委員会
- 26日 議会運営委員会

3月

- 1日 **金沢市議会3月定例月議会初日**
本会議(議案上程・提案理由説明)
議会運営委員会、議会広報委員会
- 3日 議会運営委員会
- 8日 議会運営委員会
- 9日 本会議(質疑・一般質問)
- 10日 本会議(質疑・一般質問)
- 11日 本会議(質疑・一般質問)
- 12日 各常任委員会、議会運営委員会
- 15日 本会議(補正関係討論・採決)
各常任委員会、議会運営委員会
- 17日 常任委員会連合審査会、議会運営委員会
- 18日 各常任委員会、議会運営委員会
- 19日 本会議(討論・採決)
各常任委員会、議会運営委員会
各特別委員会、議会広報委員会
- 金沢市議会3月定例月議会最終日**
令和2年度定例金沢市議会閉会

6月定例月議会の日程(予定)

6月7日(月)	本会議(提案理由説明)
15日(火)	本会議(質疑・一般質問)
16日(水)	本会議(質疑・一般質問)
17日(木)	本会議(質疑・一般質問)
18日(金)	委員会審査
21日(月)	本会議(討論・採決)

※日程は変更することがあります。

議会広報委員会

- 【委員長】宮崎 雅人 【副委員長】中川 俊一
 【委員】稲端 明浩 大桑 初枝 麦田 徹
 上田 雅大 小林 誠